

佳作  
(中学部門)

豊島岡女子学園中学校(東京都) 1年  
西<sup>にし</sup>紅<sup>く</sup>良<sup>ら</sup>樂<sup>ら</sup>

永久の未完成 これ完成である

宮沢賢治

宮沢賢治の作品からは人間の心の素晴らしさだけでなく、孤独や恐怖感から出る、負の部分、醜さのようなものも感じられる。私もまだ12年程しか生きてはいないが、早く生まれて、身体が友達より小さいということ、子供なりに、何かスッキリしないものを抱えてきた。家族に囲まれ、たくさんの友人にも恵まれたが、身体の成長のハンデはいつも私をがっかりさせた。年齢は関係なく、人間は強く美しい。そして、弱く、醜い。理想はいつも果てがなく、心から満足はできない。でもそれでいいのだ。まだ、何もできない、迷ってばかりの自分であっても、それがその時の完成形であり、生きている限り変化しつづける。

私にとって大切な言葉である。

出典

『農民芸術概論綱要』

宮沢賢治・著